

## より広い視野で取り組みたい

真光寺川を清流にする会 山口拓郎  
<http://www.shinko-jigawa.com/>

真光寺川もようやく冬の季節を迎えています。岸の木々は紅葉し、やがて散っていきました。流れはおだやかで澄み、繁茂していきたくない藻もなりを潜め川底に張りついています。しかし水そのものは、何となく黒ずんで以前のように透明ではありません。微細な藻かプランクトンが発生し水質そのものが変わってしまったのでしょうか。私どもはひたすら「子供たちが遊べる清流」を求めてきました。水質にこだわり常に水質のことが話題になります。そして議論は堂々巡りで解決策は得られなく行き詰ってしまいます。最近、もう少し広い視野で取り組んだ方がいいのではないかという話が出てくるようになってきました。示唆になる意見があります。

○和光大学・堂前教授(まだ市民大学環境講座プログラム委員長)はセミナーで次のように述べられています。「ここ数年、国際レベルでは都市部の生物多様性が重視されています。大勢の人間が住んでいる都市部で、人間と多様な生物が共存できる環境を如何にして築いていかと云うことです」

○水流さんも「真光寺川は都市部の川である程度の汚れは避けられないでしょう。人工的に清流に還すのではなく、現実を受入れどう対処していくかを考えるべきではないでしょうか」

それに応じた幾つかの動きもあります。

○最近会員に加わった志田さんは清掃日には下堰親水で真光寺川で捕れた魚やエビを水槽に入れて子供たちに見せたいとおっしゃり、11月の清掃日から実行されています。

○吉田さんは専門家に依頼して「水生生物調査」を実施することを提案されて近々実施の運びになっています。

○会として、岡上地区で活動している和光大学の「かわ道楽」との交流をはかりたいという意向も強くなってきました。

「水質をきれいにする」という願いは当然これからも持ち続けていきます。しかし都市部の河川という現実即してより広い視野で取り組んでいきたいと考えています。

{9月}

記録的な酷暑が続く。その傾向は9月に入っても一向に衰えを見せない。9月15日は大型の台風襲来、折悪しく能ヶ谷神社の秋祭りにぶつかってしまう。増水し岸の草木なぎ倒される。ことしもヒガンバナの小群落が燃えるよう緋の彩りを見せ、やがて散っていった。水面をかすめるように飛ぶトンボはオハグロ、シオカラ、ベニガラと多種多様である。

9月 5日(木) 一木会

18時~20時、おいて魚民。出席者9名。水質について様々な意見がでて賑やかである。然しなかなか有効な決め手は見出せない。堂前先生のセミナーでの講演と、岡上地区で活動している「かわ道楽」との交流が話題になる。

9月 8日(日) 清掃作業

小雨、酷暑は幾分やわらぐ。参加者10名と例月より少ない。矢崎橋より上流を手分けして掃す。多くの魚群が見られる。。ゴミ8袋。

9月26日(木) 出前講座で悠々園へ

昼過ぎ権現橋から矢崎橋へ川沿いに歩く。早朝の光景とは印象が異なる。下堰にカメが3匹浮いている。カモは群れをなし、ここのかで昼寝を楽しんでいる。セキレイは忙しく飛び交っている。カワセミは川上目指し飛ん去った。矢崎橋で川底に緑の藻が繁茂しているのを発見する。次の清掃日に確かめてみたいと考える。

{10月}

お彼岸を過ぎても暑い日が続く。それに台風が多発する。年間31個の台風襲来は1994年

以来19年ぶりの記録だそうだ。それでも植物は季節を違えない。木犀は月初に開花し、馥郁と匂いを漂わせ2週間で散っていった。オイカワは群れをなして遊泳している。ある朝、コサギが五条池で餌をあさっているのを発見した。セキレイは相変わらず忙しく飛び交っている。

10月 8日(火) 里親通信・発行、一木会

2時から支所で4名で里親通信の発行作業。印刷機の不調で苦勞する。6時から魚民で一木会、7名出席。志田さんから清掃日に下堰にミニ水族館を設置することが提案される。子供たちに喜ばれるに違いない。大歓迎である。

10月13日(日) 清掃作業

快晴、14名参加。ゴミ20袋、自転車1台。矢崎橋で岩上さんと緑の水草のサンプルを採集する。茶褐色のきたない藻と違い環境改善に役立つのではないかと期待する。(後日、岩上さんがしらべた結果「ナガバオモダカ」であることが判る。外来生物法で要注意外来種で寧ろ除去しなければならぬとのこと。がっかりする)

10月27日「エコフェスタ2013」

台風一過、快晴に恵まれる。7時30分、笠井さんの車に分乗し会場へ。エコネットのブースで展示物設置の作業を行う。松尾さん、恩田川の魚のミニ水族館を用意する。10時過ぎ鶴三



ミニ水族館をのぞきこむ子供たち

小の4年生が父兄と共に勢揃いする。校長先生も青空を見上げほっとされている。グループ別に舞台上に上り元気いっぱい「ゴミ研究」を発表する。例年のことながら発表のマナーの良さと豊富な研究内容には感心する。観客の惜しみない拍手が寄せられた。

{11月}

ようやく秋も深まってくる。ドウダンつつじが鮮やかな赤に染まり岸部のススキが風に光る。スズメが群れをなしているのを見かけるようになる。カメは毎朝のように浮いている。

11月 1日(金) 出前講座で悠々園へ

朝、下堰に魚獲網が仕掛けてあった。昼過ぎ通ると志田・黒田さんが魚獲網を引き上げていた。ミニ水族館の魚を捕っているのだそうだ。オイカワ数匹、ヨシノボリ1匹の収穫。

11月6日(水) 一木会

6時から魚民で。7名出席。吉田さんから専門家による水生生物調査実施が提案される。「かわ道楽」と接触をはかることになる。

11月10日(日) 清掃作業

曇り、気温は高い。13名参加、ゴミ21袋。岩上・山岡さんと矢崎橋下の「ナガバオモダカ」の生育状況を確認する。意外にも縮小してしまっていた。志田さんが下堰にミニ水族館を設置する。道行く人々も覗き込んでいく。いずれ子供たちの来るようになるであろうと楽しみである。

11月14日(木) 麻生総合高校・体験学習

快晴に恵まれる。ここ数年恒例となっている。9時・広袴公園に20名が元気な顔を揃える。7名で対応する。見晴台の上で清流の会の活動・サカナ・トリの話をして池を一周する。川沿いに下堰に向かう。志田さんがミニ水族館を設置して待つ。矢崎橋周辺の清掃作業。いちよう会館で昼食・歓談。12時30分、終了する。

11月26日(火) 広袴公園浚渫工事始まる

11月末~3月にかけて浚渫工事をする旨連絡がある。ヘドロが除かれ水質が改善されることを期待したい。(この項おわり)